

糖尿病性腎臓病 重症化予防事業のご紹介

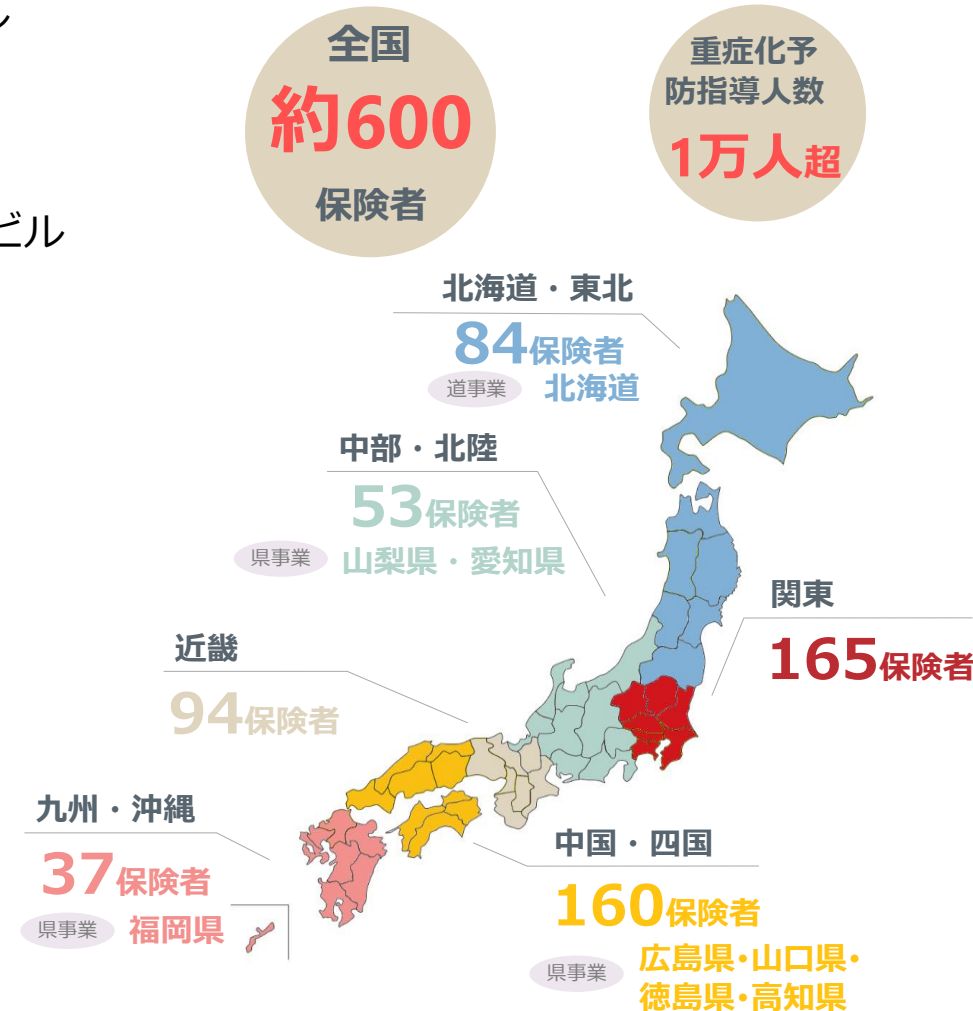
2023年1月24日



株式会社データホライゾン
株式会社DPPヘルスパートナーズ

会社概要

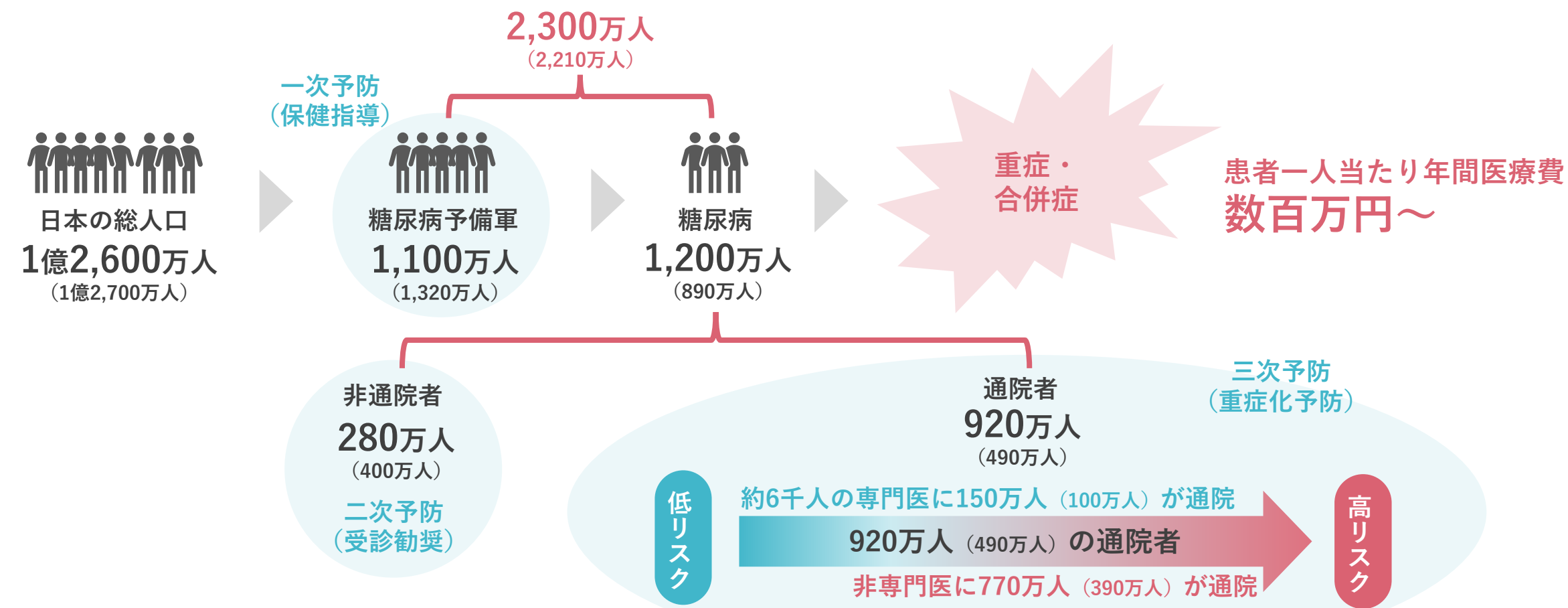
- 会社名 株式会社 データホライゾン
 - 設立 昭和57年3月25日
 - 本社 広島県広島市西区草津新町一丁目21番35号 広島ミクシスビル
 - 東京本社 東京都文京区後楽一丁目5番3号 後楽国際ビルディング
 - 関西営業所 大阪府大阪市浪速区難波中3-5-2 新販なんばビル
 - 札幌ワイ 北海道札幌市中央区北二条西2丁目34番地 フージャース札幌ビル
 - 上場市場 東証マザーズ
 - 代表者 代表取締役 内海 良夫
 - 事業内容 医療関連情報サービスの開発と提供
 - 資本金 2,156.5百万円
 - 従業員数 203名 (2021年6月30日時点)
 - 認証資格 プライバシーマーク・ISMS (ISO27001)・ISO9001
 - 関係会社 株式会社D P Pヘルスパートナース
- ※慢性疾患予防プログラムの開発と教育モデルの提供
- SIB実績 神戸市 糖尿病性腎症重症化予防
鎌倉市 ジェネリック通知事業、適正受診指導



我が国における糖尿病の現状

高齢化が進む中で生活習慣と社会環境の変化に伴い糖尿病患者が増加しています。

● 2019年度の現状 () 内は2007年度の数字



参考：厚生労働省 国民健康・栄養調査
参考：日本専門医制評価認定機構/日本専門医機構

⇒ 悪化するリスクの高い非専門医通院者を対象とする必要がある。

弊社のご紹介

弊社は**日本初**の糖尿病性腎臓病患者を対象とした重症化予防指導実施会社です。

株式会社DPPヘルスパートナーズによる 保健指導

国民健康保険初の糖尿病性腎臓病患者を対象とした重症化予防指導実施会社。
呉市の実績（図1）から全国へ取り組みが広がる。
日本唯一の重症化予防専門会社。
臨床経験豊富な看護師を中心とした体制。



株式会社データホライゾンによる 対象者分析

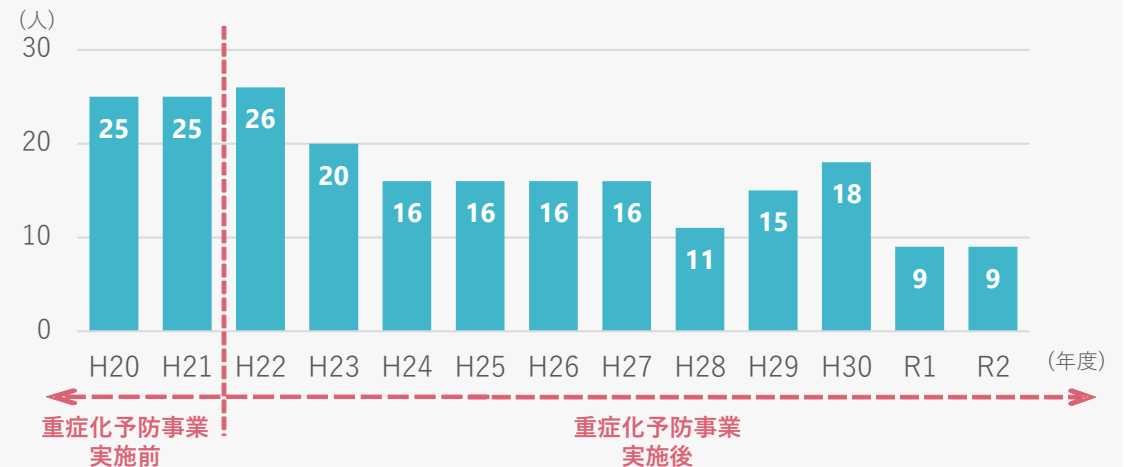
20年以上に亘り蓄積した医療関連データベースと、**特許を取得したレセプト分析技術**で、データヘルス黎明期から保険者様をご支援。
正確な医療費分析・**保健事業対象者の抽出**・事業実施までワンストップで支援可能。

※ 令和4年4月より、DPPヘルスパートナーズの指導部門がデータホライゾンに移行。

図1 呉市国民健康保険における新規透析導入患者数の推移



呉市では、**糖尿病性腎臓病3b期～4期にも指導**することで、**「新規透析導入患者数の減少」**という結果に繋がっています。



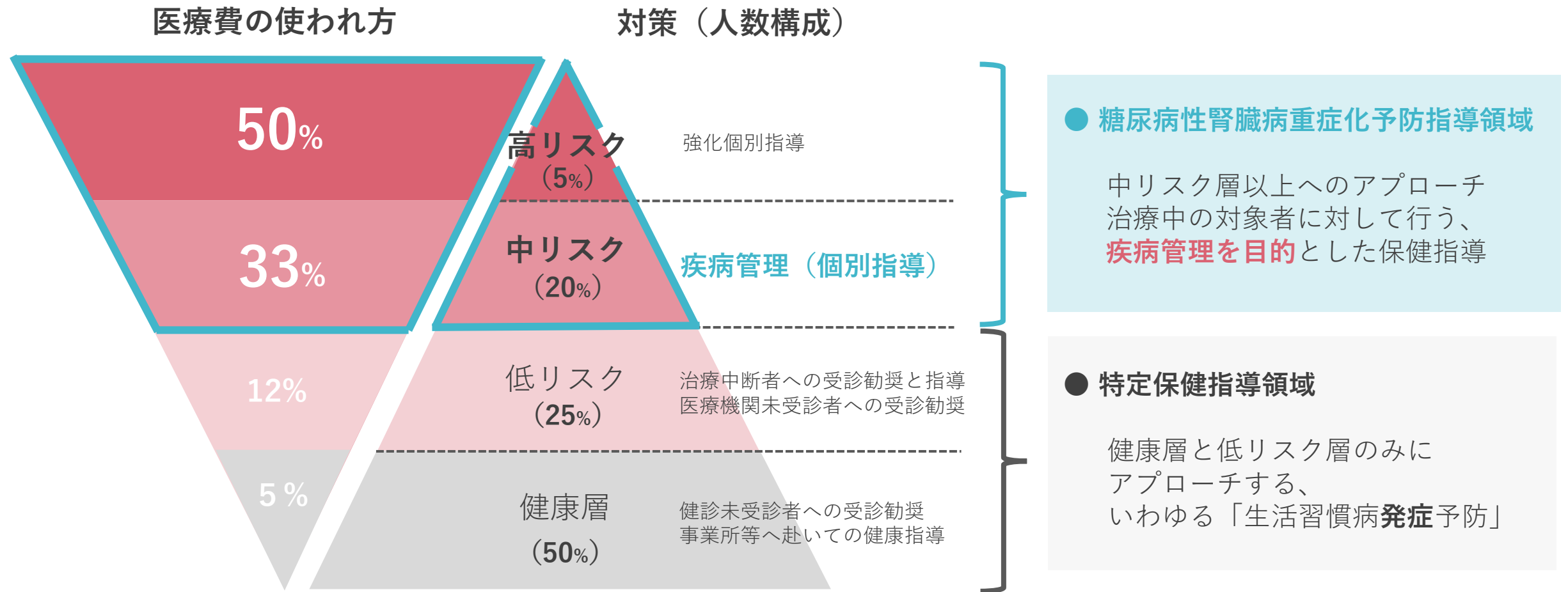
※この中には被用者保険からの資格移動が含まれるほか、月末に手術⇒透析⇒そのまま死亡のような方も含まれる。

(出所)広島県呉市役所福祉保健課ヒアリングよりデータホライゾン作成

全国で **121** 保険者
10,227 名 指導実績があります。

重症化予防指導と特定保健指導の違い

重症化予防の保健指導は**治療中の対象者**に対して行う**疾病管理を目的**とした指導です。



疾病管理の重要性

疾病管理とは、必要な治療やケアを継続的に提供し、疾病をコントロールすることです。

慢性疾患管理（Disease Management）

< 医療の流れ >

地域/職域
健診

急性期/教育
入院

慢性期
外来

慢性期（外来・自宅）
での管理不良で悪化、
急性増悪を繰り返し死亡

地域

必要な治療や
ケアの継続的な提供

- ・ 患者教育
- ・ データ管理

保険者機能の強化

指導員の重要性

弊社は指導員に**疾病管理のプロフェッショナル**を揃えています。

● ターゲット

- 腎臓機能（軽度～高度低下）全般
- 糖尿病性腎臓病 2期～4期

弊社の
強み

- ・ 糖尿病性腎臓病 **3b期～4期**の指導が可能
(3b期～4期に指導することで、
呉市と同等の透析移行予防効果が見込める)

● 重症化予防指導員

➤ 看護師・保健師

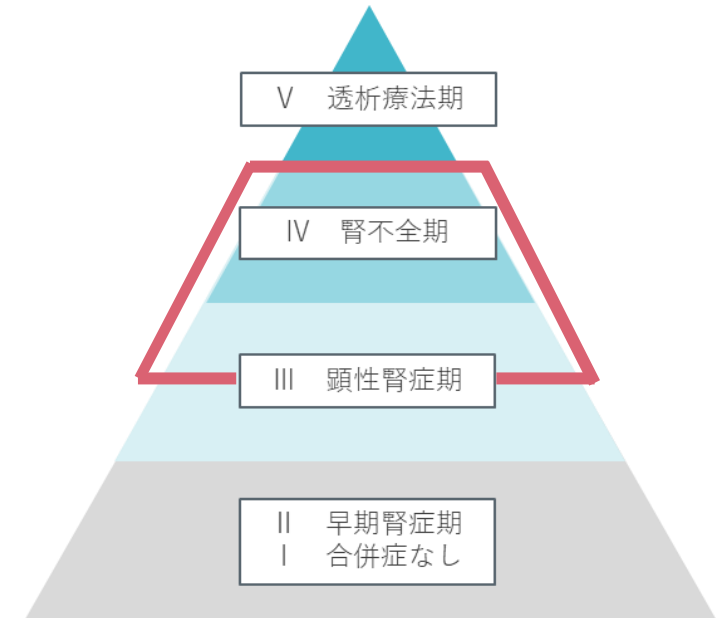
他管理栄養士が食事指導サポート

指導方法 … 専任（基本的に担当は変わらない）

採用条件 … **臨床経験 3年以上**の看護師・保健師

教育体制 … **500時間以上の研修**（Web研修・対面研修・ロープレ・OJT）
※社内認定基準に達した者のみが指導業務に従事

人工透析移行予防が可能！



看護師・保健師は実証研究に基づいたカリキュラムで教育しています。

● eラーニング（カリキュラム）

セルフマネジメント教育

1. 疾病管理	
第1章	データヘルス計画と疾病管理
第2章	疾病管理に必要な患者教育の概要
第3章	疾病管理 ケアのトライアングレーション
第4章	疾病管理で活用する認知行動療法
2. 疾患特有の知識	
第1章	メタボリックシンドロームの基礎知識
	2-1. 禁煙
	2-2. アルコール
	2-3. 不整脈の基礎知識（病態生理と治療）
	2-4. 高血圧の治療
	2-5. 食事療法の基本
	2-6. 内臓疾患の運動療法の基本
第2章	糖尿病の基礎知識
	2-7. 糖尿病 疾患概念の理解
	2-8. 合併症の発症・進展の阻止
	2-9. 新時代の糖尿病治療
	2-10. シックデイ
	2-11. 低血糖指導
	2-12. フットケア
	2-13. 血糖パターンマネジメント
	2-14. フットケアの技術演習
	2-15. 糖尿病の食事療法
第3章	糖尿病腎症の基礎知識
	2-16. 糖尿病腎症の概念
	2-17. 糖尿病腎症の治療
	2-18. 糖尿病腎症の看護
	2-19. 低たんぱく食の基礎知識1
	2-20. 低たんぱく食の基礎知識2(食品成分表の使い方)
第4章	虚血性心疾患の基礎知識

糖尿病の専門的知識

	2-21. 虚血性心疾患の病態生理と治療
	2-22. 虚血性心疾患の療養方法
	2-23. 心臓リハビリテーション
第5章	心不全の基礎知識
	2-24. 心不全の病態と診断
	2-25. 心不全の治療
	2-26. 心不全の療養方法
第6章	脳梗塞の基礎知識
	2-27. 脳梗塞の病態生理と治療
	2-28. 脳梗塞の患者教育
第7章	セルフマネジメント支援技術
	2-29. セルフマネジメント支援技術
3. ケアコーディネーション	
第1章	ケアコーディネーション
第2章	家族を一つのケアユニットとしてとらえる支援の必要性
第3章	医療連携、地域連携の知識
4. コミュニケーション	
第1章	患者教育に必要な知識と技術
第2章	デレナーシングの知識と技術
第3章	医師とのコミュニケーションスキル
5. 模擬患者への介入演習	
	5-1. 面接技術1<初回面接>
	5-1. 面接技術1<2回目面接>
	5-2. 面接技術2<初回面接>
	5-2. 面接技術2<2回目面接>
	5-3. 面接技術<電話教育>
	5-4. 検査データの読み方とアプローチ（糖尿病）
	5-5. 検査データの読み方とアプローチ（糖尿病腎症末期）
	5-6. 検査データの読み方とアプローチ（循環器疾患）
	5-7. Physical Examination (脈拍、浮腫、視野、神経機能、呼吸音、心音、脳神経、末梢神経、MMT)
	5-8. 動機付け面接法



広島大学大学院 森山教授をはじめとした

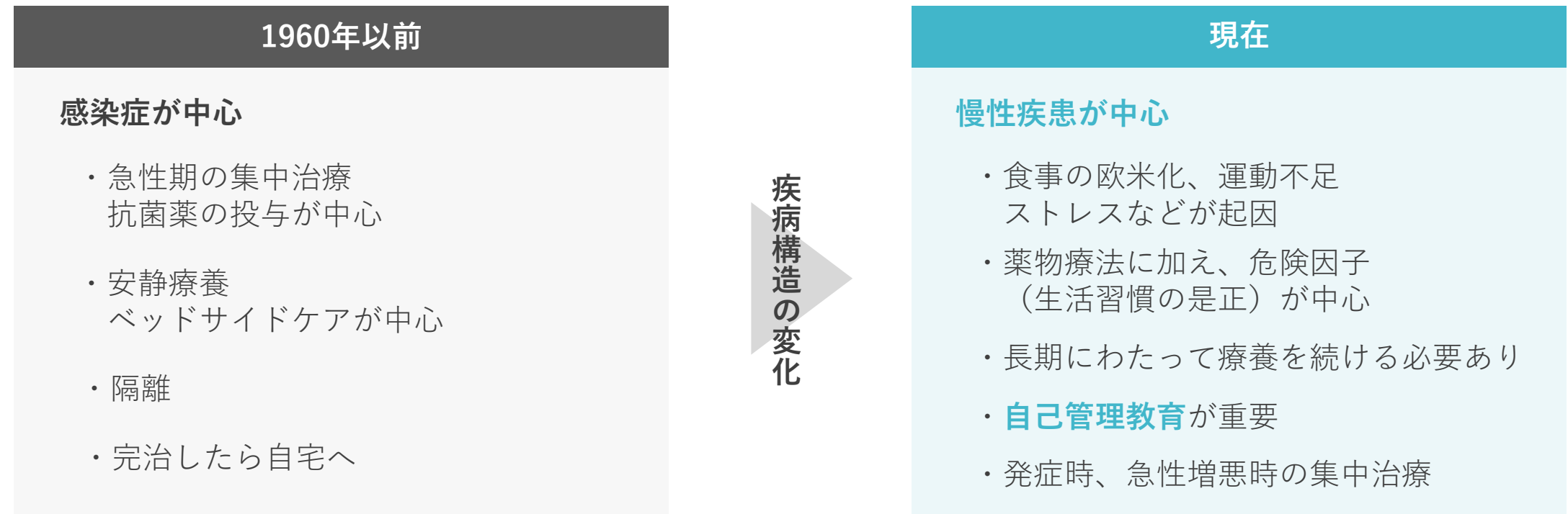
15名の専門講師が監修した指導カリキュラムにより、指導に必要な技術・知識を身につけています。

行動変容理論を含めた面談技術

重症化予防指導で最も重要なポイント

特に、対象者に対しての**セルフマネジメント**教育が指導におけるカギとなります。

● セルフマネジメント教育が必要となる背景



⇒ 疾病構造の変化に伴い、慢性疾患のコントロール（セルフマネジメント）が最重要となっています。

セルフマネジメント教育とは？

セルフマネジメント教育は**学習援助型**の支援です。

● 1960年以前（感染症が主）

罹患したら**治療**する、**罹患する前にワクチンで予防**する等、「医学」「公衆衛生」で成り立っていました。



● 現在（慢性疾患が主）

医療者が**学習援助型**で支援しながら、患者・家族に、**自身の病気の理解・病気を管理する技術等のセルフマネジメント能力**を身につけてもらう教育が重要となりました。

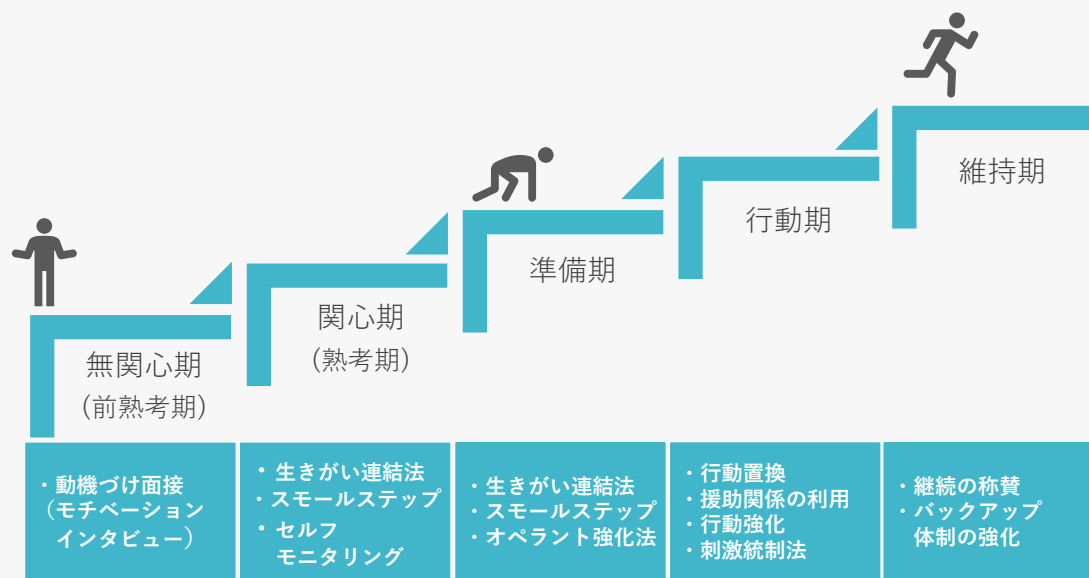


参考：安酸史子（2010）改訂2版 糖尿病患者のセルフマネジメント教育
エンパワメントと自己効力、12、メディカ出版

セルフマネジメント教育に加えて**行動変容理論**に基づいた指導を行います。

● 行動変容ステージ

対象者が「行動変容ステージ」のどこに属しているかを見極め、**状況に適したアプローチ**で効果を高めます。



参考：松本千明『健康行動理論の基礎』（医歯薬出版株式会社、2002）

※それぞれのステージに効果的とされる介入方法を挙げていますが、「無関心期には、動機づけ面接以外を用いてはいけない」という意味ではありません。

● コントロールの所在

「病気を自己管理する」ことに対して、その人が**どういう行動をとりやすいか**に焦点を当てて指導します。

外的コントロール型

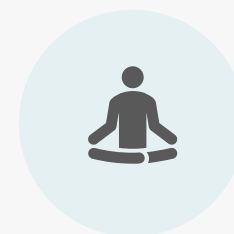


短所：自己決定ができない
他者の意見に依存

長所：他人の意見に耳を傾ける
（特に権威ある人）

➤ **自己決定が苦手**

内的コントロール型



長所：目標を明確にできる
結果を求める

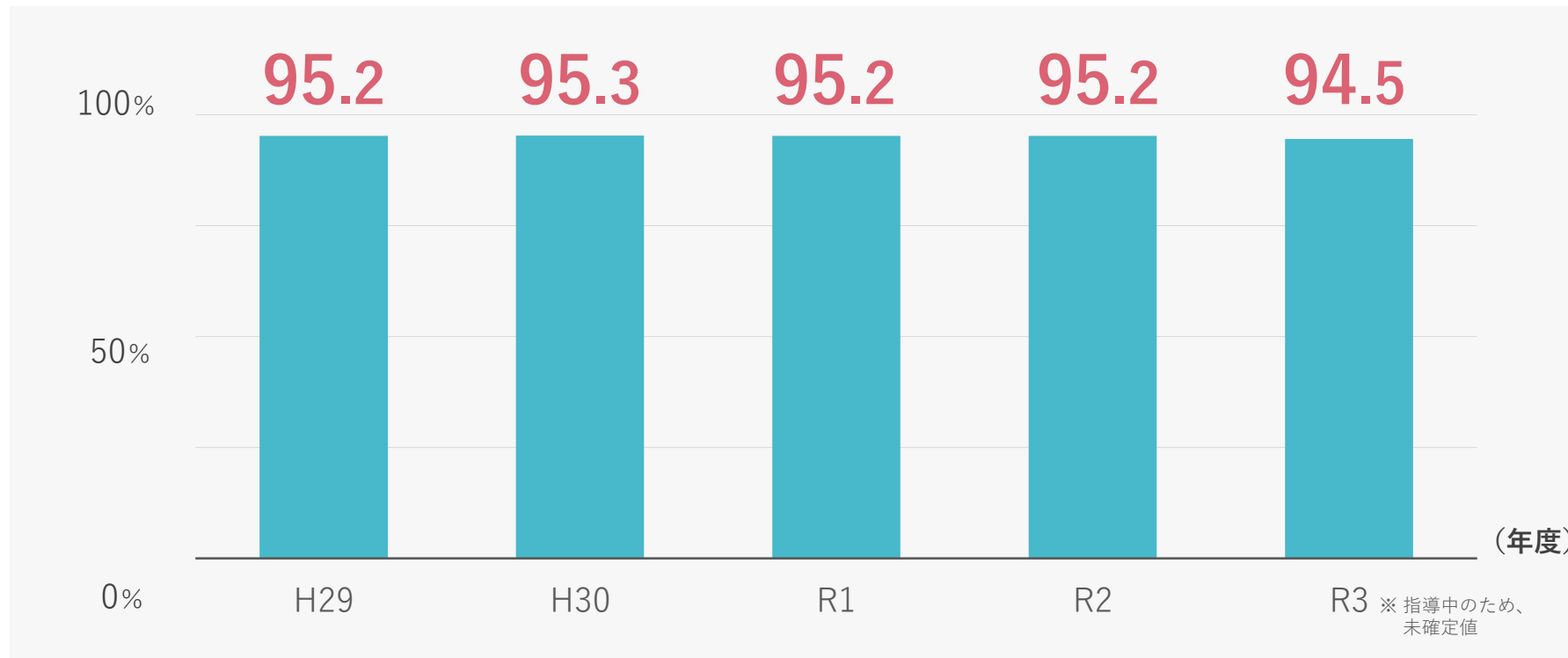
短所：人の言うことを聞かない

➤ **自己決定を好む**

指導完了率

全国で類を見ないほど、高い指導完了率を誇ります。

● 全国における指導完了率



参考：弊社受託実績より算出

⇒ 弊社のゴールは病気を持った方がご自分の病気をコントロールできるようになることです。

重症化予防指導を効果的に進めるための様々な資材

指導教材は長年に亘って研究開発したノウハウが詰まっています。

● テキスト

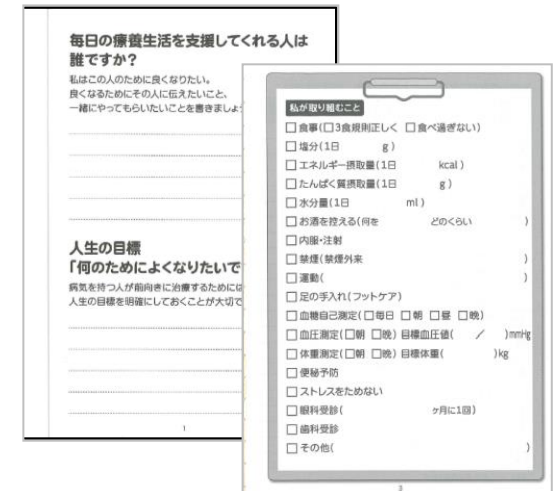
広島大学大学院で長年に亘って研究した糖尿病や糖尿病性腎臓病患者への重症化予防指導のノウハウを織り込んでいます。



イラストや比喻表現を多用し、対象者の理解が深まるようにしています。

● 自己管理手帳

セルフマネジメントを促すためのノウハウが詰まっています。



書き込み型の手帳で「自分ゴト化」を図り、継続性を図ります。

オンライン指導・アプリを活用した指導も展開しています。

● オンライン指導・アプリ活用のメリット

揺るぎない指導技術があるため、遠隔面談においても**効果に大きな差がない**ことを確認できています。

これまでの課題

- ☐ 面談・電話が6カ月間続き指導対象者の負担大
- ☐ 直接面談・電話の場合、双方のタイミングの不一致が多発
- ☐ 検査、生活データの入手が煩雑本来業務に支障
- ☐ 効率が悪くコスト高
- ☐ 感染症の罹患リスクあり

解決

- ✓ 面談・電話でのやりとりを最小限に抑え、指導対象者の負担軽減
- ✓ アプリのメール機能により各々のタイミングで対応が可能になり、時間と労力の削減が図れる
- ✓ アプリで対象者のデータを事前に入手でき、正確で効率的な指導が可能
- ✓ サービス料金の削減が可能
- ✓ 非接触面談のため、感染症の罹患リスクを大幅に低減

個別面談



電話指導



紙面への記録



オンライン面談



メールメッセージ



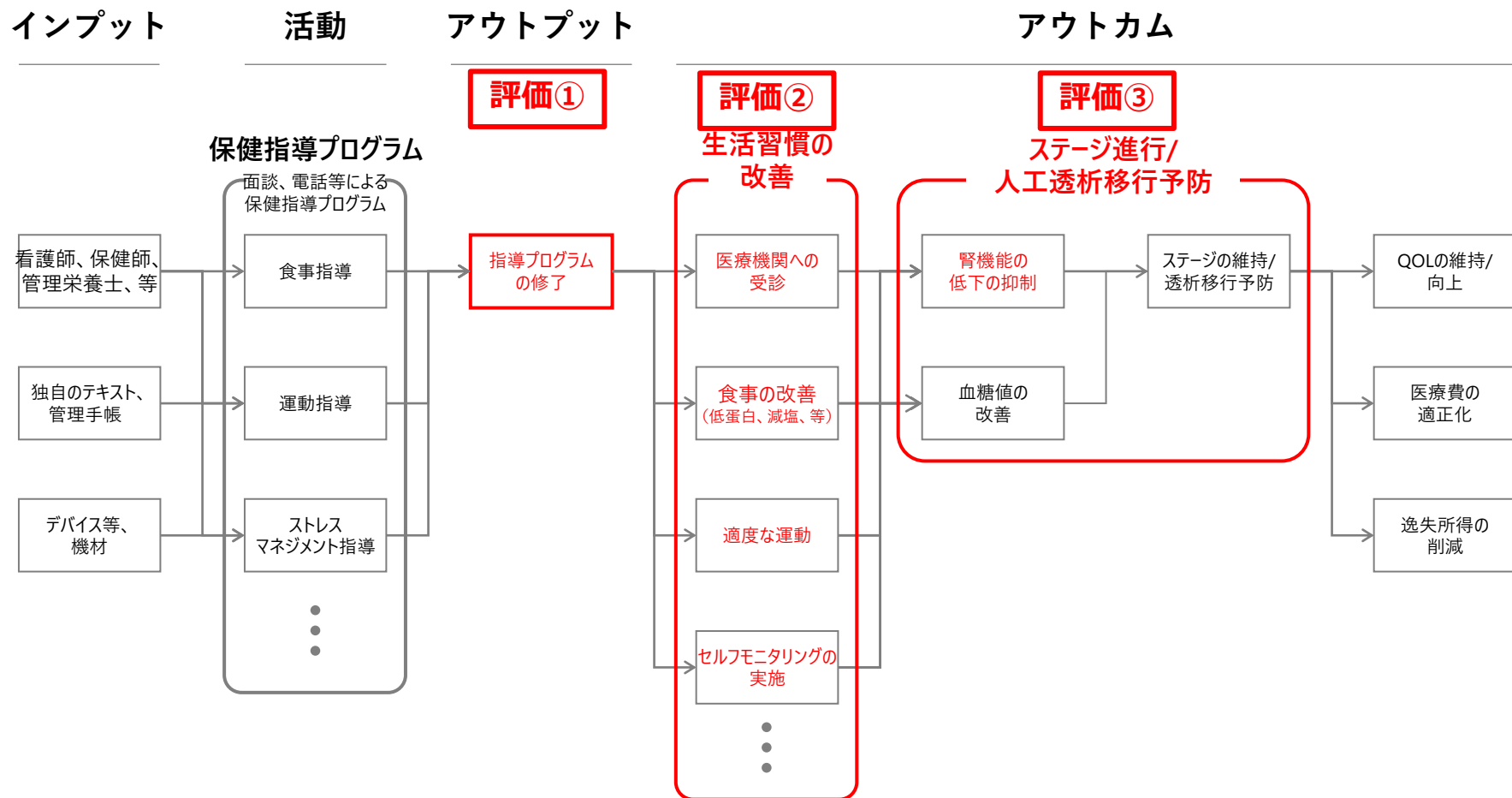
アプリへの記録



SIB/PFSの事例 神戸市における事業の概要

上位目標	市民の健康寿命の延伸
事業目的	糖尿病性腎症等のステージの進行、人工透析への移行の予防
事業内容	・ 未受診および治療中断中のハイリスク者計100人を対象。 ・ 受診勧奨および食事療法等の保健指導を実施。対象者の医療機関への受診および生活習慣の改善を通じて、重症化を予防。 ・ 保健指導プログラム修了率、生活習慣改善率、腎機能低下抑制率を成果指標として、委託料を支払い。 ※成果に関しては第3者評価を実施
事業費 ※予定額、税抜き	約2,400万円
事業期間	2017年7月～2020年3月（3年間） 2017年7月～2018年3月：保健指導業務を行う事業実施期間 2018年4月～2020年3月：評価業務を行う評価期間
期待される 便益	・ 市民のQOLの向上 ・ 治療にかかる医療費の適正化 ・ 死亡したり通院・入院したりすることで、労働ができないことによる逸失所得の削減

SIB/PFSの事例 事業における評価の対象



本事業ではアウトプット及びアウトカムの評価を実施

データヘルスの未来をカタチに。

